

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
理科	61・啓林館 未来へひろがる サイエンス	【QRコンテンツの充実】 ○ICTが活用できるQRコンテンツが各学年200個前後有り、質的にも充実しており、学びを広げることができる。 ○すべての章の導入場面で、生徒の疑問を引き出す動画【はてなスイッチ】がQRコードで視聴できるため、生徒の疑問から探究的な学習へ繋げる工夫が施されている。 ○QRコンテンツでは、導入で活用できる動画以外にも、動かしたり、編集したりしながら生徒の理解を促し、学びを深めるデジタル教材が豊富である。また、発表や整理のためのシート、練習問題なども多数用意されている。 ○実験のページには、QRコードが用意されており、実験方法、実験結果の処理、分析のための動画が見られ、予習する際に実験のイメージが持ちやすく、復習の際にも視覚的に理解しやすい。 ○「ICTでトライ」等のQRコンテンツが随所に設けられており、分子モデル作成やグラフなどの情報を生徒自身が操作できるWeb上の仕組みが整っている。 【探究の過程を通じた学習の徹底】 ○各学年とも、探究する力を育てる教科書の構成が統一されており、どの単元でも、生徒が見通しをもって取り組めるように配慮されている。 ○巻頭に探究の過程をサイクル図として示し、漫画で具体例を示すことで、探究の流れが分かりやすいように配慮されている。以降のページにも、探究の流れに沿ってページが展開されている。 ○巻末には、単元ごとに設定された探究活動のワークシート【探Qシート】が準備されている。 ○ワークシート【探Qシート】は構成が統一され、探究の過程を意識したつくりになっており、探究活動に慣れる配慮がされている。各学年で重視される探究の過程の項目は「ここをしっかりと！」の文言で明示されており、生徒が意識して思考を深めることができるようになっている。 ○思考を深めるために、「それってホント？」の欄で、批判的な思考が提示され、「なるほど」の欄で、生徒が誤りやすい概念を取り上げ、理解や思考を促す工夫がされている。 ○各単元に設定された「探Q実験・実習」(探Qシートに対応)では、他者との意見交換の場面が設定されており、自分の考えの妥当性を検討・洗練することができるため、根拠の

		ある仮説を立て、対話を豊かにしながら主体的に課題に取り組めるような工夫が施されている。 ○「学ぶ前にトライ！」と「学んだ後にリトライ！」で、単元学習の前後での「理科の見方・考え方」がどのように変容したのかを実感でき、単元を貫く問いによって、何を学習するのか、何ができるようになるのかなど、生徒が見通しをもって取り組める工夫がされている。(QRコードで読み込める振り返りシート付き) 【内容の配分及び表記】 ○単元の系統性を配慮した学習配列となり、全ての学年とも「生命」「地球」「物質」「エネルギー」の4領域のインデックスにより、小学校・高校への系統性を意識しやすい構成になっている。また、各学年での学習内容を振り返る際に、全ての学年とも統一された単元配列になっているので比較しやすい。 ○AB版の紙面により、写真等が大きく掲載されており、それぞれに解説を加えることで、見やすく興味をひく紙面構成となっている。 ○第1学年用では、計算など他教科などとの横断的な記述があり、生徒の計算のサポートがある。 ○第1学年用では、中1ギャップに対応し、文字が大きく読みやすくなっている。 ○全体的に情報量が多く、発展的な学習を進めたい生徒にも対応できる。 【観察・実験での安全面】 ○安全で確実に結果が得られる薬品の量の設定、ユニバーサルデザインの観点から実験の注意点を文字とアイコンで示すといった、観察・実験では安全面を最優先に構成されている。 ○実験・観察の技能を身につけさせるために、実験器具の使い方を説明したコーナー「実験のスキル」のすべてにQRコンテンツがあり、動画などで操作方法を確認できるようになっている。 【内容的な特徴】 ○第3学年の最後に、多くのページをさいて「環境」という単元を設け、環境問題や、科学技術の発展、持続可能な社会といった今日的な課題を多く取り上げ、人間が自然の中でどのように生きていくかを考えさせている。
--	--	--